まあるい、まあるいお月様

冬の間
姿を消したお月様が
今日は夜空に顔を出したよ

まあるい、まあるいお月様

厚い冬の雲に隠れ
何度も満ち欠けを繰り返し

今夜は、何の迷いのない光で
ぼくらを照らし出している

僕たちもお月様と同じ

つらい時は
雲の陰に隠れ

誰にも気づかず
欠けてしまった心を

時間をかけて
満たしてあげても
良いんじゃないか？

大切な物を失えば欠けていき
新しい物を得れば満ちていく

それは、自然な出来事で
ムリに逆らえば、こころが壊れる

必ず時が経てば
必ず新しいもので満ちていき

まあるい心がもどってくる

そんな場所が
僕たちにも
あって良いんじゃないのかい？

雲に隠れたお月様のように
一人静かに、泣けばいい

ゆっくりと
キミの心が
まあるく満ちるまで

雲のベッドで休めば良い

そしていつか

きみも、何の迷いもない光で
大切な人を照らし出すだろう